Creative Enzymes®

キモトリプシン

Cat. No. DIGS-227

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	キモトリプシンは、膵液の消化酵素成分であり、十二指腸で作用してタンパク質やポリペプチドの分解であるプロテオリシスを行います。キモトリプシンは、アミド結合のカルボキシル側（P1位置）が大きな疎水性アミノ酸（チロシン、トリプトファン、フェニルアラニン）であるペプチドアミド結合を優先的に切断します。これらのアミノ酸は、酵素の「疎水性ポケット」（S1位置）にフィットする芳香族環を側鎖に含んでいます。キモトリプシンは、トリプシンの存在下で活性化されます。
用途	1. 臨床では、常に一般的な外傷、手術後の創傷治癒、抗炎症、局所浮腫、血腫、捻挫の血腫、乳房手術後の部分的な腫れ、中耳炎、鼻炎などに使用されてきました。白内障の除去、まつ毛筋靭帯の緩和、嚢胞破裂の□減、網膜の損傷を減少させるために使用されます。さらに、トリプシンとの併用により、広範□の抗炎症□として使用されます。 2. 抗生物質および抗真菌□の補助□として、動物医学および動物健康産業の分野で広く使用されています。
別名	EC 3.4.21.1; キモトリプシン A および B; アルファ-キマール オフス; アバザイム; キマール; キモテスト; エンゼオン; キマール; キモトレース; アルファ-キマール; アルファ-キモトリプシン A; アルファ-キモトリプシン; キモトリプシン

製品情報

外□	白またはほぼ白の凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.4.21.1
CAS登□番号	9004-07-3
活性	キモトリプシン > 1000 USP単位/mg 粉末

保管・発送情報

保存方法	密封、暗所、温度2-8度セ氏